

富士川

1月号 昭和46年1月27日 No. 127 富士川町役場発行
 富士川町岩淵121番地
 ☎ 1 1 1 1

町の人口

46. 1. 1現在	15,271人
男	7,532人
女	7,739人
世帯数	3,471世帯
(面積)	31.09Km ²

印刷/望月印刷所 T 00304

十二月定例会

保育園建設等可決

町議会十二月定例会は十二月十二、二十三日の両日にわたり役場大会議室で開催されました。

芦川守正、太田義雄両議員の「交通行政について」、斎藤昌巳議員の「教育行政について」の一般質問を皮切りに次の諸議案を慎重

に審議、原案どおり可決した後請願書、陳情書五件をそれぞれ委員会付託とし、二十三日午前十時四十五分に閉会しました。

- ① 一般会計決算認定
- ② 国民健康保険特別会計決算認定
- ③ 公共用地先行取得事業特別会計

決算認定

④ 水道事業企業会計決算認定
 右について町監査委員会（石川均・芦川守正両監査委員）から監査報告があったのち質疑が行なわれ可決

⑤ 町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

⑥ 町企業職の給与の種類および基準に関する条例の一部を改正する条例

⑦ 単純な労務に雇用される職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

右の三件は、人事院勧告による

国家公務員の給与改訂にともないそれに準じた町職員の給与改訂のため条例を改正したものです。

⑧ 一般会計補正予算

第二回目の補正予算。今回の補正は、二千四百八十八万円を追加、予算総額は五億一千五百五十九万五千円。歳入は、町税の一千六百八十八万六千円を主に、繰越金の六百万円等。歳出の大部分は職員給与改訂による差額支給（五月分より実施）

⑨ 保育園条例の一部改正条例

北松野保育園を開設するため、町保育園条例に同保育園の名称、所在地、収容定員を加える等改正

⑩ 教職員住宅の建設

⑪ 北松野保育園建設
 両件は4ページに掲載してある内容の建設を可決したものです。

⑫ 町道の認定

東名高速道工事により付替または側道として使用された道路が無償譲渡されたので、関係路線を町道に認定しました。

⑬ 国民健康保険条例の一部を改正する条例

所得税および住民税の所得申告において、所得控除額が年々引き上げられていることとともない、国税の算定に支障を生じているので、国税に関する申告制度を条例中に設けることとなりました

そこには泉があり、こんこんと湧きでる清冽な清水が枯草をわけて流れる。天然のわさびが対照的に緑にしたたる。

わさびを知らぬ子どもたちは、それが生き生きとしていることにのみひかれています。

自然への復帰、なんとせつないほどの郷愁か。十坪ほどの庭がほしい。



小池川 近々完成



写真 小池川改修 蒲原方面からイハラケミカルを見る

小池川改修工事が急速にすすめられていきます。

小池川改修工事完成は、地元幸町・本通りの住民の長年の念願でした。

町当局は、三十年の大洪水以来毎年、県や国に陳情、一昨年から蒲原町地先より工事が行なわれるまでになりました。

今年度からは、当町にはいり、従来の方法でいくと当町分約六六〇メートル完成までには三年〜五年かかりますが、これを一気に用地先行取得で用地買収を終え、一部はすでに掘削工事を施工、四十六年三月末に完成する予定です。これにより、幸町・本通り国道

筋の浸水害は皆無に近くなることと思われます。

加藤建設課長の話「昨年暮れから、用地問題について関係町民の皆さんとご協議申しあげましたところ、事業の公共性、重要性をご理解くださり、ご協力、ご配慮惜しみなくいただき、町および関係者一同感謝しております」

■昭和45年度の小池川改修工事

場所 中之郷小池下地内

工種 護岸工

工期 11月18日〜3月25日

施工者 岩瀧組(大村福太郎)

請負額 一千七百六十九万円

各道路工事

町道富士川由比線改良工事を含む三路線が着工しました。

①原地東線道路新設工事

工期 12月30日〜3月20日

施工者 若月栄組(若月柗夫)

請負額 八十五万円

②県単吉津金丸線林道開設工事

工期 12月30日〜3月20日

施工者 岩瀧組(大村福太郎)

富士宮由比線

来年開通か

県道富士宮由比線の改良工事は旧松野村当時、昭和十年、富士宮市、由比町、旧松野村の三市町村で、県道富士宮由比線開設道路組合を設立、以来、毎年数回にわたり県や国に陳情をかさねてきました。このように設立後三十年にわたる陳情の結果、昭和四十年、富士川町大代地先の未開地域約二千三〇〇メートルを国の補助事業として認められ、翌四十一年度から予算化されました。年々予算も増額され、事業費総額約六千余百万円をもって、ついに来年開通の見通しになりました。

開通しますと、富士宮―富士川―由比の産業開発にはかぎりれない成果が期待されます。■昭和45年度県道富士宮由比線の改良工事

請負額 百九十五万円

(延長一五〇m幅員三・六m)

③町道富士川由比線改良工事

工期 12月30日〜3月20日

施工者 手島組(法月寿作)

請負額 二百九十万円

県知事選

両候補 同得票

一月二十七日実施された県知事選挙の当町の結果は次のとおり。(当日有権者数一〇一五三名・男四九六二名・女五一九一名)

■投票

投票者数 投票率

男 三四三九 69・31%

女 三九六四 76・36%

計 七四〇三 72・91%

■候補者得票数

小田俊与候補 二〇七票

竹山祐太郎候補 三五六〇票

松本 広候補 三五六〇票

無効 七六票

役場庁舎改築

鉄筋三階建に

役場庁舎を改築することになりました。(その理由、必要性については、12月号1ページ・新春号1ページに掲載)

新庁舎の計画は、現庁舎を取りこわし、その跡地に鉄筋3階建の役場庁舎延一七九五㎡(五四四坪)を建築し、これに接続して鉄筋

2階建消防庁舎延二一三㎡(六五坪)を併設した、いわゆる総合庁舎を建設するものです。

庁舎改築を決定するまでには、数回の庁舎建設特別委員会、三回の全員協議会が開かれ、慎重な審議検討を経ていきます。

(庁舎内容の詳細は次号に掲載)

町公害連絡協

専門部会長 決定

町公害対策連絡協議会の専門部会長の部会長、副部会長が決まりました。

総合的に公害に対処しようとする町公害対策連絡協議会（十二月号4ページ詳報）の五つの専門部会が一月十三、十四日にわたって開かれそれぞれ部会員と部会長、副会長が決定しました。

専門部会の会員は、協議会委員と関係団体の役員員。

専門部会の部会長、副部会長は次のとおりです。（敬称略）

- ① フッ素公害 部会長 副部会長
浦田富雄 箕 武司
池谷孝太郎

- ② 大気汚染（フッ素を除く）
芦川守正 斎藤常正
田辺次郎

- ③ 交通公害 望月一郎 太田義雄
久保田為雄

- ④ 山砂利公害
石川 均 斎藤昌巳
神野 茂

- ⑤ 水質廃棄物公害

高岡太郎 若月吉太郎

野田合板K

今後は、この機関を主に、公害の調査、研究、対策審議を通じて公害排除を実施していきます。

日 軽

フッソ公害対策を

説 明

日本軽金属（株）蒲原工場は、四十三年から四十七年までの五年計画で十八億をかけてフッ素公害対策をすすめています。その内容について、一月十四日、午後二時、老人福祉センターで、町公害対策関係者に説明しました。日軽側からは九名町から六〇名出席

さきに中川町長が日軽に要望した六項目（十二月号2ページに詳報）に対する回答もかねたもので町議会公害対策特別委員会（芦川特別委員長）町フッ素公害専門部会（浦田部会長）は、この回答書の内容については、再要望すべき点もあるとして検討をすすめる模様です。

写真 日軽の揮害対策説明会



小池土地区画

整理事業着工

「土地区画整理事業」とは、都市計画区域内の土地について、県町あるいは組合等によって事業計画をたて、道路・水路・公園等の公共施設をつくり、不規則な地形を方形に換えて土地の利用増進をはかり、無秩序な宅地化を防止するため、法律にしたがって行なう都市づくりの新しい事業です。

土地区画整理事業の特色

もっとも大きな特色は、「照応の原則」を基調とした換地手法によって受益者負担で環境づくりを

する点にあります。また、この事業に要する費用は保留地を設けて、その処分金をあてることも特色の一つです。

小池土地区画整理組合

この組合は、県および町の技術援助をもって、さる十月三十日、県知事の認可を得て県下で54番目の組合として発足したものです。

〇組合の名称

富士川町小池土地区画整理組合（土橋幸作理事長・組合員37名）

〇編入区域 約四四四〇〇㎡（約一万三四〇〇坪）

〇筆数 七九筆

〇総事業費 二千八二五万円

第一期工事は、入札の結果、（株）若月組が八三五万円で水路工事を施行中です。（十二月三十日着工、三月十日完成予定）

都市下水路

一期工事着工

成予定）

当町東町および堺町下地区は、一時間五〇ミリ程度の降雨でも家屋浸水の被害を受け、町としてもその対策に苦慮、関係方面に強力に陳情して都市下水路事業の実現をすすめてきました。

さいわいその努力が実ってこのほど第一期工事を入札、五四〇万円で斎藤組が施行しています。（十二月三十日着工、三月二十日完

善意銀行寄託

（12月17日～1月14日）

一円五一〇〇円 鮎川伸代：東二

雑布七五枚 奉塔会：旭町老

雑布二〇〇枚 幸和会：幸町老

二万円 斎藤常正：相生

五万六千三四四円共同募金会

一千元 相生町十二日講

雑布九〇枚・竹ボウキ一本

八坂クラブ南町

二千八百円 角替千鶴子木島

町教職員住宅

センター前にも建設

松野地区原方に建設中の町教職員住宅（12月号詳報）は完成を間近かに控えていますが、これに続き富士川地区でも、老人福祉センター前に四世帯用の教職員住宅の建設が始まっています。

着工したのが十二月二十八日、

北松野遊園地に

保育園

北松野清水の北松野遊園地に保育園の建設が進められています。

敷地一三〇〇㎡（約四百坪）に46年に三十人収容の一〇八㎡、（三一〇万円）47年に六十人収容の二二七㎡（五二〇万円）と園舎を建設します。

46年分の園舎建設は昨年十二月二十六日に着工、三月二十五日に完成予定。請負者は宇佐美建設（代表者・宇佐美重次郎）

保育室3・乳児室・給食室・職員室・医務室・更衣室各1、その他の付属施設。（完成時に詳報）

完成予定三月二十日。一般世帯用

四戸です。請負者は若月栄組（代表者・若月征夫）

経費 八百万円

財源 公立学校共済組合資金

金利年六分・25年償還

入居開始 四月一日

規模 鉄筋コンクリート2階建

延面積一六〇㎡



写真 昨年十二月二十六日の教職員住宅地鎮祭 同日北松野保育園の地鎮祭も行なわれた

一戸：六帖、四・五帖
食堂兼台所各一室
浴室トイレ付

このように続々建設する教職員住宅は、教職員の皆さんに良好な環境で生活していただき、わたしたちの子弟のための教育に専心ねがう目的をもっています。

町生活改善委

葬儀の反省

町生活改善委員会（会長・若月吉太郎区長会長）が一月二十日午後一時、老人福祉センターで開かれ、葬儀の反省と新しく結婚式改善について話し合いました。

葬儀

式そのものの荘厳性を傷つけず費用や時間の節減改善をはかる趣旨を再確認し、次のようにする。

総体的には花輪の撤廃、葬列の廃止等かなり改善の成果をあげているが、香でん返し等因習打破がなかなか困難、随時、周知徹底をはかる。

お返しは、ハンカチなど百円程度とすることを再確認。

公民館結婚式

町教育委員会からの提案「披露宴には町内仕出屋の千円料理利用の件」を審議、承認。（二月詳報）

納税証明書の交付

二月末までに

税務署は、二月中旬以後、とくに三月中は、所得税確定申告事務の繁忙期にあたります。

この期間は、証明請求をされましても、当日交付ができないで迷惑をおかけする場合があります。納税証明書を請求される方は、できるだけ二月末日までに、または四月以降に請求されるよう、ご協力をお願いします。

申告所得税45年分の証明書を必要な方は、確定申告書の控えと領収証書をご持参ください。

税金の還付手続きは

二月中に

○一月から受付
確定申告によって、納め過ぎになった税金の還付を受けようとする方は、なるべく二月中に申告書をお出しください。

○早い順に還付
早く申告されますと税金の還付も早くなります。

三月になると事務が混雑しますので、還付できるのが四月以降になる場合もあります。

○注意事項

・住所・氏名は明確に

・源泉徴収票などの添付書類は
確実に
・支払いを受ける銀行・郵便局
名などお忘れなく

ニセ税務署員に

注意

最近、税務署員らしくみせかけて、講習会への出席や出版物の購読をすすめ、代金を請求するといった事件が、東海地方各地で起こっています。

■こんなときにはご注意

①税務署に似た名まえを使ったり
税務署員と思わせ、パンフレットなどを売りつけるとき。

②「税務署の主催で講習会を開くから参加してほしい」といって
参加料を請求するとき。（税務署主催の講習会では参加料は無料）

③注文もしない雑誌やパンフレットをかってに送ってきたとき
後日、半年または一年分の代金
というて数千円を請求）

■被害を受けないようにするには
①ことばづかいや態度に注意し、
不審な点があるときは、身分証明書を確認するか、税務署へ電話で連絡してください。
②印刷物を買う意志や入会する意志がないときは、はっきりと
わかってください。

所得税の確定申告

お早めに

二月十六日～三月十五日

所得税は、二月十六日から三月十五日まで、毎年の所得と税額を納税者自身が計算して、確定申告をし、納税することをたて前としている。

◎確定申告をする人

- 1、事業、配当、不動産、雑、給与、譲渡、一時、山林、退職および利子所得等の合計額が基礎控除、配偶者控除などの所得控除の合計額より多い人は、確定申告をしなければならない。
- 2、年末調整が行なわれた給与所得者でも、収入金額が五百万円を超える人。
- 3、給与所得や退職所得以外の所得の合計額が五百万円を超える人
- 4、二か所以上から給与を受けている人で、年末調整されない給与の収入金額と、給与所得や退職所得以外の各種の所得金額との合計額が五百万円を超える人。

5、家事用人などで、給与の支払を受ける際に所得税を源泉徴収されないことになっている人

◎確定申告書に添付する書類

- 1、医療費控除の医療費領収書。
 - 2、小規模企業共済掛金控除の支払掛金証明書。
 - 3、生命保険料控除の一契約九千円以上の保険料証明書。
 - 4、損害保険料控除の支払保険料証明書。
 - 5、給与所得者の源泉徴収票、(2、3、4で年末調整の際控除を受けた分は除く)
 - 6、社会保険料など所得控除を受けようとする人は、これに必要な書類。
- ◎申告納税相談
- 1、所得や税額の計算方法など申告について、おわかりにならないことがありましたら、税務署や役場税務課などに設けられる相談会場へお出かけください。事業所得者など一部の方については、混雑を避けるため、相談日時を通知しますからこの日時を利用してください。
 - 3、贈与税および譲渡・山林所得者については、あらかじめ相談日時を通知しますから、申告の

できる方は早めてください。

4、申告書には、申告人の住所・氏名・生年月日・職業・配偶者および扶養控除該当者の氏名・続柄・生年月日。事業専従者の氏名・続柄・生年月日・従業員数。(青色申告者の方は専従者給与額・従事月数を忘れずに)

新しく

青色にする方へ

青色申告には有利な特典があります。ことしから青色申告をしようとする方は「青色申告承認申請書」と「青色専従者給与に関する届出書」を三月十五日までに税務署へお出しください。

税法に

強くなるろう

相談所開設

法人税、所得税、源泉徴収税、贈与相続税、印紙税等の国税について相談をいたします。お気軽にお出かけください。

■場所 富士川町商工会議所二階

■日時 2月15日 4月12日
6月14日 8月9日
10月11日 12月13日

午前9時半～午後3時
相談員 清水税務署員

歳末 共同募金

四十一万円

一般共同募金五十六万九千円、歳末共同募金四十一万九千円の好成績に対し、町共同募金会(会長・中川町長)は、善意を寄せられた町民皆さんに感謝しています。

- (1)一般共同募金(赤い羽根募金)
総額 五十六万四千三百七十円
(内訳)
戸別 二十九万七千八百七十円
(二九八九世帯)

大口 十七万八千五百円
(二四六世帯)
法人 八万八千円
(三八法人)

総額を県共同募金会に納入
(2)歳末共同募金(歳末助け合い)
総額 四十二万一千六百五十九円
みかん 五五四キロ
学用品 三二二点

(内訳)：品以外の単位・円：
仏教会・区長会 一〇万二千七〇二
婦人会 一四万七千八八〇
みかん四四キロ

仏教婦人会 三万
町議会 一万七千
一中生徒会 一万三千八〇八
さくら台幼 七千三二〇
木楽会老ク 一千五〇〇
一小校内委員会二万六千五百四二
みかん一〇キロ
学用品三二二点

連合青年団 一万
勤労者協議会 一万六千四百九七
本州製紙青・婦人部五千八百七九
二中生徒会 七千一四六
二中佐野正司 三八五
半在家神戸とく 五千
蒲原ライオンズ二万
富士市富陽軒 一万

以上の金品は全部、町内生活困窮世帯や町民で各福祉施設に入所している方に「明るい正月を迎えてください」と贈られました。



写真 役場前で「歳末助け合い金品」を町長に渡す一小校内委員の皆さん

新成人

模範投票

新成人者は三十七人。当町は、一小体育館で挙式(二二三人出席)しました。中川町長の式辞、望月議長の祝辞、原田教育長らの励ましのことは、白石美知子さんの

児童版画教室

荻野君館長賞

宇多利児童館

宇多利児童館(館長・中川町長)は、十二月十三日、小学生四・五・六年生六十名を対象に児童版画教室を開きました。

県児童会館の築地隆雄先生を講師にお招きし、年賀状版画を勉強したものです。

なお、次の児童が45年度第一回版画教室入選者に決定。

- | | | |
|-----|-------|----|
| 館長賞 | 荻野泰英 | 六年 |
| 特選 | 佐野文男 | 五年 |
| 〃 | 塩坂英和 | 六年 |
| 〃 | 池内敏文 | 六年 |
| 〃 | 中村淳子 | 六年 |
| 〃 | 植松英司 | 六年 |
| 〃 | 大石広和 | 六年 |
| 〃 | 藤谷綾子 | 六年 |
| 〃 | 野沢美代子 | 六年 |
| 〃 | 花田靖子 | 六年 |

「新成人の感想」

発表で閉式。一小校庭での記念撮影体協陸上部主催「祝成人駅伝大会」のスタートを見送って解散。

なお、開式に先立ち、模範投票が

実施され、先着〇八人の新成人が投票。用紙には候補者名のかわりに感想を書くというもの。78%の人が自覚ある回答を寄せました。

写真 模範投票

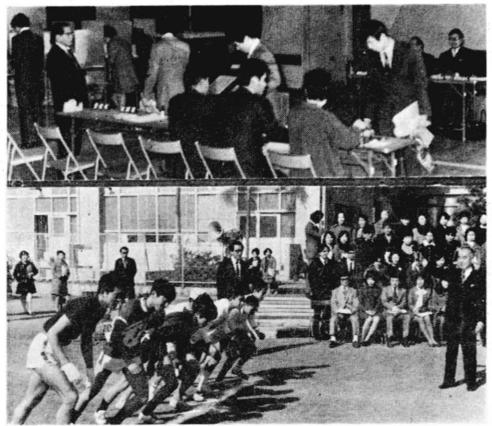


写真 町長の号砲で...

一里塚、はたご池

町文化財に指定

史蹟・一里塚、名勝・はたご池
民俗資料・古民家の三件が町文化財に指定されることになりました
町文化財専門委員会(芦川守正委員長)が、町教育委員会(山本一委員長)の諮問をうけて、一月十九日午後二時、老人福祉センターで会合、審議の結果、答申決定した。

■史蹟・一里塚

役場下の県道にあり、慶長九年(一六〇四)二月、徳川幕府によって、東海道の一里ごとに築かれた一里塚で、榎の木を植え、道程の便をはかっています。
江戸日本橋を起点に六十間を一町、三十六町を一里と定めてあり当町の一里塚は江戸から三十七里

目にあたります。

高さ約二十メートル、周囲の盤根があらわれ基径約十メートル。このような完全な姿で残る一里塚は、東海道中でも数少なく、専門委員会では、町文化財指定後、県文化財指定として申請することも検討しています。

なお、高さ三メートルの塚碑を建立します。

■名勝・はたご池

北松野の台山山頂にあり、池の面積約五〇〇㎡(一五〇坪)四季水をたたえ美しく、富士山、富士川の眺望もまたすばらしい。
白樺植樹、稚魚放流、トイレの新設が検討されています。

■民俗資料・古民家

南松野、池野三十坂・桑木野の家屋が、江戸中期の民家として当町内でもっとも古く、民俗的価値があり、町文化財専門委員会の注目するところでした。が、昨年秋、当家の稲葉源一さんから、家を新築するからさしあげてもいいという申し入れがあり、一挙に移転の運びとなったものです。

現在、解体された民家は、老人福祉センター前に積まれ、復原の日を待っています。八帖間四間と広い土間をもったカヤ葺き、ちよるな仕上げの家屋です。

答申を受けた教育委員会は一月二十八日この三件を正式に可決。



駅前前の柳町通りに、歩行者天国を作ろうという考えを、一部の人が持ちはじめた。某議員が、12月の町議会で発言したのは、その考えのうち、もっとも現実的な一つの型かも知れない。

朝夕の通勤ラッシュ時間は、車を通さない。駅の近くに、附近の人のための駐車場を作り、堀の上に舗道をつける、という案である私は、もう一歩進めて考えて欲しいと思う。何故なら、この案には、車による人間の損傷を防御しようという、消極的発想しかないここでは、人間と車は共存関係で、車は人間のための利器だということ、資本の論理を抜いただけではない。いま、まさに車は害器なのである。人間の間人らしい生活を否定して無限に自己増殖する車、これこそ害器でなくてはならない。経済成長という美名の悪魔から、人間をとり戻す積極的発想こそ必要なのだ。

歩行者天国は、太陽のある間、子どもの遊び場でなければならぬ。主婦たちも、青年たちも、五人、六人と横に並んで、顔を見合せて話合いながら、道というものは歩くべきである。それが人間なのである。

社会教育主事 池谷九万夫

一 小 五 年 生

望月美里さん 統計調査で 大石由美子さん 表彰さる

表 彰 さ る

昨年十二月十五日沼津市公会堂で開かれた県統計大会席上、統計記録の部で当町第一小学校五年生の望月美里さん、大石由美子さんが県統計協会長表彰を受けました。八月の夏休みを利用して行なった統計調査が認められたもので、充実した立派な作品。

「富士川駅歩道橋が完成してから、東町の人たちのくらしはどのようなにかわっただろうか」をテーマに、東町二丁目の家庭七〇世帯等を対象に調査、東町の人たちが

歩道橋ができてからは、以前より二・八倍も本道の商店を利用することを実証しました。これは、歩道橋のために東町の人たちが本通り商店を利用するようになるのではないかとという心配を科学的に反論した結果となりました。

青年バレーボールリーグ戦

今回は二月五日

青年バレーボールリーグ戦（本

紙二一〇号に詳報）の次回予定は二月五日、相生町対サインはVと北松野対室野の二試合。

一月二十日の結果
九十鉄工 2対1相生町
サインはV 2対0室野

高校生活を終え、職場で一日も早く自分の仕事を覚えようと努力しているが、人間関係の難しさ「井の中のカワズ大海を知らず」で早くも社会生活二年目を迎えている

若い皆さん

ぼくたちと一緒に

相生町支部長 齋藤 仁

明日といわず若い皆さん

に参加したの
は一年前、そんなことから
多くの人たちと接したいと考えたからである。

同世代の者同志が自分の意見を交換し合い、スポーツに汗を流すすばらしさがあり、楽しい

親しい人間関係をつくるダンスサークル、教養向上を目的とする青年文化会議もあります。

▼富士川短歌会▲

十二月詠草

天野 寛選

鈴木みつる

黒四ダム目ざして走るわが車
右に左にりんご園見つつ
※ねらっているところはわかるが
肝心の下句が効果的に表現されて
いないため平板なものになってい
る。ここはあくまでもりんご園を
追求すべきである。

高橋勝治

明治村にて見し銭箱と同じ銭箱
我が家にありうれしと思ひぬ
※十分短歌になりうるテーマであ
る。結句はもう少し推敲の要があ
らう。

篠根チヨ

日まわりや真夏の日ざし強くあ
び真黄色にぞ吾をはげます

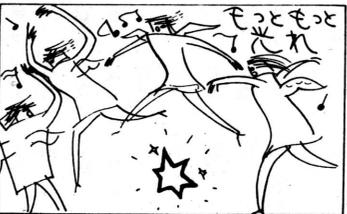
※調子はともかく、意味の上でや
はり問題がある。下句の主観的表
白は独善的であろう。四・五句の
接続も吟味が必要である。

長橋安子

白き毛の仔犬もらひて隣り家は
俳優の名をつけて呼びをり

※どんな名をつけようが勝手であ
るが、そこに短歌成立の契機があ
る。具体的に事実を云い表わした
ところが成功の因である。いか
もユーモアがあってもおもしろい。

星の子 太田 利三



松野柑橘組合

第十二回の総会

一月十六日、第十二回松野柑橘生産組合の通常総会が南松野永精寺で開催。組合員七十五名が出席し、松野地区の主幹作物となったみかんづくりを課題に熱心な意見が交換されました。

本年度の目標は長期貯蔵方法の研究、組合による肥料・器具等の共同購入でのコストダウン。

人の流れ

(敬称略)

45 10・20・12・19

祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄	上町	佐野歌織	公彦	二女	富士見町	佐野政夫	幸子	松野	相生町	海江田祥子	静岡市
四十九	袴田晴美	茂治	三女	小山	植松広人	敏彦	長男	小池	志村 齋	夫佐子大石	東町	田中勝子	富士市	
東町一	望月 栄	末吉	長女	大北町	稲葉直子	達	長女	相生町	中川美雄	教子	望月	大北町	鈴木今子	富士宮市
四十九	松原由佳	伝二	長女	大北町	佐野美穂	貞利	二女	東町二	前沢照郎	美恵子	佐久間	相生町	秋山知子	富士市
幸町	高遠昌巳	肇	長男	幸町	重森尚子	進	長女	八幡町	佐野 厚	保枝	佐野	日の出町	若月豊子	富士市
四十九	花田広文	好廣	長男	本通一	桐谷静央	収一	長男	新町	森山好久	久美世齋藤	上町	谷津倉弓子	神奈川県	
上町	久保田和彦	紀之	長男	清水町	朝比奈慎也	栄樹	長男	幸町	中川高吉	明子	望月	四十九	青山敬子	清水市
本通四	米山正紀	隆	三男	四十九	堀池美紀	潔	長女	坂下	太田章司	良子	深瀬	四十九	鈴木 栄	小笠町
本通三	齋藤 緑	伊杵雄二	二女	宮町	若林正恵	正和	長女	南町	望月良雄	知世子	袴田	盛下町	国本まさよ	富士市
室野	谷津倉良太郎	良幸	長男	新町	竹川直樹	幸子	長男	富士見町	森 博夫	かなえ杉山	恒子	富士見町	井出しづ子	富士市
南町	天野希多子	昇	長女	小池	野口 努	政義	二男	東町	望月 優	君江夫	渡辺	大北町	鈴木陽子	蒲原町
宮町	岩科 広	義治	長男	祝結	野口 努	政義	二男	坂下	滝 悦雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
相生町	吉田貢男	保巳	長男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
新町	長谷川範子	静雄	三女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
南町	清水亜季子	茂	長女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
宮町	浦田裕之	誠一	長男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
坂下	斎藤久美子	和夫	二女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
四十九	若月清乃	清	長女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
四十九	堀河和美	太郎	二女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
上町	鈴木尚子	康治	二女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
南町	小林博行	信美	二男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
東町一	原田 晋	崎曹	二男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
四十九	渡辺充洋	雅義	長男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
南町	望月奈々枝	与市	二女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
木島	望月祐紀	準	長女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
宮町	望月幸泰	道夫	長男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
東町一	生子孝行	衛	長男	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
南町	望月重紀	昇	三女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市
富士見町	久保田秀美	次郎	長女	祝結	野口 努	政義	二男	上町	齋藤宣雄	明子	山梨	清水町	佐田貴美子	富士宮市

編集覚書

本号は、紙面の都合で「富士川夜話」を掲載できませんでした。氏車 十さんは次のように言っておられますので、来月号をお楽しみに。

「過日、〃ぼんじよ会」という町内婦人友好団体の新年会に招待され、会場の木島・芦川さん宅を訪問した際、火縄銃が壁に立てかけてあったのを見ました。

遠い昔を語るその銃は三尺ほどの短身で、珍奇な姿にぐっと魅せられたものです。ご主人からも二三の事実を伺い、それがわたしの胸の内ではぐくまれ「富士川夜話」として採録されるのを待っています」

■年賀ハガキの一等が当町から。相生町の二木保二さん、正月早々の幸運。8mm撮影機映写セット

■ことしも冒頭から公害・物価・交通・医療・住宅・老人問題等とさびしい世相。住民の声を反映する町、県、国政に切実な期待。

■庁舎建設が決まった今、風におられる小会議室、床のかしんだ大会議室の疲勞の色濃し。

■新春号、選挙特集号発行で定期号遅延。次号から25日発行を期す

81・一一一

広報富士川 齋藤 博